

企業理念 (パーパス)

見えないものを見える化し、 社会に新たな価値を生み出す

企業理念 (パーパス) に込めた思い

これまで、これからも、大崎電気グループは事業を通じて社会に貢献することを目指しています。

創業以来、電気に関わるものづくりを続けてきた大崎電気グループは、電力量計を通じて社会インフラである電力の安定供給や有効利用を支えてきました。機械式電力量計がスマートメーターへと進化しても、電力(エネルギー)を見える化する製品・サービスは、変わらず私たちの中核です。

そして現在では、エネルギー以外のものも見える化し、社会課題を解決する「ソリューション事業」を広げつつあります。

さらに今後、これまでになかった領域にも挑戦し、社会に役立つ新たな価値を生み出していきたいという思いを込めて制定しました。

ビジョン

Global Energy Solution Leader

価値観

挑戦・迅速・革新・社会貢献

Contents

4 ごあいさつ

Chapter 1 大崎電気グループの価値創造

- 5 トップメッセージ
- 11 History
- 13 価値創造プロセス
- 15 グローバル展開
- 17 財務・非財務ハイライト
- 19 経営成績と事業ポートフォリオ
- 20 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて
- 23 中期経営計画
(2024年度～2026年度)について

Chapter 2 価値創造のための事業戦略

- 25 国内計測制御事業
- 29 TOPICS
事業運営体制の強化 —事業部制への移行—
- 31 海外計測制御事業
- 34 不動産事業

Chapter 3 価値創造の基盤

- 35 サステナビリティの重要課題
- 40 気候変動への対応
- 42 コーポレート・ガバナンス
- 47 取締役・監査役・執行役員
- 49 社外役員メッセージ
- 51 コンプライアンス
- 52 リスクマネジメント
- 53 従業員とともに
- 55 お客さま・取引先とともに
- 56 社会とともに
- 57 株主・投資家とともに

Chapter 4 Dataセクション

- 59 財務情報 (11年間の連結データ)
- 61 会社の概要
- 62 株式の概況

編集方針

株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに、大崎電気グループの持続的な成長に向けた取り組みをお知らせするため、統合報告書2024を発行しました。国際統合報告評議会 (IIRC) のフレームワークを参考に、大崎電気グループの価値創造に関する報告を中心に構成しています。

統合報告書対象期間

2023年4月1日～2024年3月31日

※一部対象期間外の情報も掲載しています。

見直しに対する注意事項

本報告書に掲載されている業績予想など、将来の見直しに関する情報は、情報掲載時点で入手可能な情報に基づき作成し掲載しています。実際の結果は、経済動向などさまざまな要因により、これらの情報と異なる可能性があることにご注意ください。

表記について

本報告書では、大崎電気工業株式会社を大崎電気もしくは当社、大崎電気工業株式会社およびグループ会社を大崎電気グループもしくは当社グループとして記載しています。また海外計測制御事業を担うグループ会社EDMI LimitedをEDMI社と記載しています。

ごあいさつ



取締役会長 CEO (代表取締役)

渡辺 佳英

大崎電気グループは、2024年度に企業理念を「見えないもの見える化し、社会に新たな価値を生み出す」に改定し、パーパスとして制定しました。

1916年に創業した大崎電気は、電力の計測・制御を通じてエネルギーの有効利用に貢献してきました。現在もスマートメーターで国内トップクラスのメーカーであると同時にさまざまなパートナーとともに、脱炭素社会の実現などの社会課題に対する新たなソリューションの提供を進めています。

2012年にEDMI社をグループに迎えてからは、グローバル展開も加速し現在はオセアニア、欧州、アジア、中東・アフリカなど、多くの国と地域に製品・サービスを提供しています。

グループシナジーを最大限に活かし、持続可能な社会を支える企業へとさらなる成長をめざしてまいります。

今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。